

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価1 有効性・必要性が高い

No.	事業名	R5決算額	所 管 部 局		所 見 等 ※所見は○、意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
1	〔保健福祉部〕 地域で見守り 支える福祉拠点 推進経費	183,190千円 (うち特定財源) 35,704千円	・地域包括支援センターにおける自立相談 支援事業の実施（委託）	・延相談件数 9,325件→13,032件【14,000件】 〔うち新規〕 766件→ 740件【 800件】 ・支援プラン作成件数 208件→ 367件【 400件】 〔うち改善〕 51件→ 163件【 200件】	○相談件数および改善件数が増加しており、相談員の資質向上および 身近な相談窓口として定着しており、高い効果が期待できる。
2	〔保健福祉部〕 二次輪番病院運営 費補助金	48,068千円 (うち特定財源) 20,161千円	・輪番により休日、夜間の重症救急患者の 入院治療を実施する二次病院に対し、診 療実施日数に応じて補助金を交付 ▶ 機関数 9 病院 ▶ 診療科 4 科	・診療実施日数 365日→ 366日【 365日】 ※通年実施 ・利用者数 13,054人→13,907人【14,500人】	○本事業は、北海道医療計画に基づき、病院群輪番制に参加する二次 救急医療機関に対する補助事業であり、夜間休日の地域医療体制の 維持に必要な事業である。
3	〔子ども未来部〕 保育体制強化 事業費補助金	28,394千円 (うち特定財源) 20,832千円	・保育所等に対し、保育に係る周辺業務を 行う保育支援者の配置に係る経費の一部 を補助 ・制度の周知	・交付件数 23施設→ 26施設【 33施設】 ・配置延人数 36人 → 48人【 54人】 ・改善施設割合 100% → 100%【100%】	○交付件数および配置人数が増加し、改善した施設割合が100%と高い ことから、働きやすい職場環境整備に高い効果が期待できる。
4	〔子ども未来部〕 延長保育事業費 補助金	9,149千円 (うち特定財源) 5,850千円	・延長保育の実施に係る経費を補助 ・制度の周知	・延長保育実施 ▶ 施設数 49施設→50施設【49施設】 ▶ 施設割合 84% →85%【84%】 ・交付件数 26施設→26施設【27施設】 ・補助対象施設 における延利用人数 6,707人→7,247人	○実施施設数や割合が高く、延利用人数も増加していることから、高 い効果が期待できる。
5	〔観 光 部〕 観光ポータル サイト「はこぶら」 関係経費	22,374千円 (うち特定財源) 22,322千円	・公式観光情報サイト「はこぶら」および SNSの運営（委託） ・マーケティング分析（委託）	・トップページPV数（外国語版含む） 10,142,848→8,976,635【9,920,000】 ・Xインプレッション数 4,151,010→4,493,354【4,970,000】 ・Instagramインプレッション数 5,249,055→4,769,231【5,270,000】 ・facebookリーチ数 0→1,235,218【1,370,000】	○非常に多くの利用者がトップページ等を閲覧しており、高い効果が 期待できる。 ◆今後、マーケティング分析の結果などを活用し検証することで、よ り内容の充実を図り、更なる高い成果指標を目指すべきである。
6	〔港湾空港部〕 函館空港 国際航空便 就航補助金	9,208千円 (うち特定財源) 0千円	・就航を検討している航空会社へ補助制度 の周知等を実施 ・国際航空便を就航させる航空会社に対し て補助金を交付	・再開した航空会社 2 件（累計） ・最大週12便、2 路線【週28便、8 路線】 ※R5新規事業	○2 路線が就航したところであり、路線の拡大等は観光・交流人口に 高い効果が期待できる。
7	〔港湾空港部〕 函館港利用促進費 （港湾特会）	19,876千円 (うち特定財源) 9,600千円	・ポートセールス訪問 延べ52社 ・クルーズ船受入事業の実施 47回 ・青函圏クルーズ事業の検討	・クルーズ船寄港回数 9 回→47回【70回】 ・青函圏クルーズ事業【確立】	○クルーズ船寄港回数が増加し、観光・交流人口の拡大に高い効果が 期待できる。 ◆成果を達成するためには、ポートセールスの強化など、事業の改善 に取り組む必要がある。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	R5決算額	所 管 部 局		所 見 等 ※所見は○、意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
1	[企画部] 市政はこだて 発行費	74,505千円 (うち特定財源) 3,618千円	・重要施策や市政情報等を周知するため 広報紙を作成し、全戸配付（月1回） ・特集記事掲載(R4.4月号～) ・LINEアンケートの実施	・HP版アクセス数 40,421件→35,675件【37,000件】 ・広報紙を読む割合 ※R4は未調査 67%(R5.9月)→73%(R6.3月)【85%】 ・紙面の見やすさ ※R4は未調査 20%(R5.9月)→24%(R6.3月)【40%】	○紙面のリニューアルなどに伴い、広報紙を読む割合が向上し、市政 情報等を広く周知する手段として、紙面による全戸配布（月1回） は一定の効果が期待できる。 ◆今後も、LINEとの連携によるHP版の閲覧など広報のデジタル化の取 り組みを進めるべきである。
2	[企画部] 一般財団法人 函館国際水産・ 海洋都市推進機構 補助金	12,118千円 (うち特定財源) 0千円	・函館国際水産・海洋都市構想の推進母体 である機構に対し、運営費および構想推 進のため補助金の交付	・研究開発支援 1件 → 3件 【6件】 ・体験学習受入数 9団体→8団体 【12団体】 ・マリンフェスティバル来場者数 R4開催なし→5,007人【5,600人】	○研究開発支援件数が増加しており、革新技術や新産業創出への一定 の効果が期待できる。 ◆来場者等の水産海洋に関する興味や理解度に加え、研究開発等の進 捗状況を把握し、次代を担う人材の育成や新産業創出等を通じた地 域経済への効果など事業の成果を適切に図る必要がある。
3	[総務部] 非常食、 応急救護用 資機材購入費	13,889千円 (うち特定財源) 5,000千円	・災害に備え、備蓄品を購入 ▶食料 20,260食 ▶飲料水 24,000本（500ml） ほか	・目標12万食（発災日2食分×6万人）に対する充足率 ▶食料 56.3% →63.5%【R10：100%】 ▶飲料水 69.2% →68.1%【R9：100%】 ▶配備箇所数 102箇所→102箇所【R6：106箇所】	○災害に備え、引き続き必要な備蓄を計画的に進める必要がある。 ◆国の方針や市の地理等を勘案した配備箇所や備蓄品目の検討を進め、 充実を図るべきである。
4	[市民部] 町会交付金	89,387千円 (うち特定財源) 0千円	・町会の自主的な活動を促進するため交付 金を交付 ・組織割の合併特例措置を追加 （従前の額を5年間確保）	・交付件数 178町会→176町会【176町会】 ・総活動回数 8,201回→9,260回【9,360回】 ・平均活動回数 46.1回→52.6回【53.2回】	○活動回数が増加しており、地域コミュニティの強化に繋がる一定の 効果が期待できる。 ◆公式LINEのアンケート機能などを活用した地域住民のニーズ調査の 実施等により、事業の成果を適切に測る必要がある。
5	[市民部] 函館市町会連合会 補助金	10,000千円 (うち特定財源) 0千円	・町会運営における共通課題の研究等を行 う町会連合会に対し、運営経費の一部を 補助 ・未加盟団体への勧誘	・町会加盟率 98.9% →98.9%【100%】 ・会議開催数 104回 →107回【116回】 ▶課題研究 34回 →41回【47回】 ▶連絡調整 70回 →66回【69回】	○加盟率が高く、会議開催数も増加しており、地域課題の解決など一 定の効果が期待できる。 ◆事業の成果を適切に測るため、会議の開催が具体的にどのような効 果をもたらしているのかを把握すべきである。
6	[市民部] 街路灯電灯料補助 金	56,454千円 (うち特定財源) 0千円	・町会等に対し、街路灯電灯料の8割を補 助	・街路灯数 19,969灯→19,990灯【20,092灯】	○防犯や交通安全に対する市民の安全・安心の向上に寄与し、町会等 が所有する街路灯の安定的な維持・管理に必要な事業である。
7	[市民部] 町会会館建設費等 補助金	17,116千円 (うち特定財源) 11,700千円	・町会会館の建設・改築等に係る経費の一 部を補助 ・合併や共同運営に伴う会館の解体に関す る補助を追加	・過去5年間利用実績 46館→49館【51館】 ・地域住民の活動拠点 である町会会館の存続 101館→101館【101館】	○過去5年間で約半数の会館が利用し、老朽化対策等に一定の効果が 期待できる。 ◆利用が少ない会館等については、会館の共同運営のほか、公共施設 の利用等により、活動拠点の確保ができないかを検討すべきである。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	R5決算額	所 管 部 局		所 見 等 ※所見は○、意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
8	〔市 民 部〕 脳ドック経費 （国保特会）	11,261千円 （うち特定財源） 0千円	・条件を満たす国保加入者を対象に，脳ドック受診を募集し，検査を実施	・受診者〔定員：380人〕 377人→379人【380人】 （応募者 448人→427人） ・要二次検査者 ▶ 人数 21人→ 24人【 24人】 ▶ 割合 5.6%→6.3%【6.3%】	○定員枠を上回る応募者数となっており，要二次検査者が一定数いることから脳に関する疾患の早期発見に寄与し，一定の効果が期待できる。 ◆要二次検査者の検査結果を追跡調査するなどし，早期発見による医療費の削減等にどのような効果をもたらしているか把握する必要がある。
9	〔保健福祉部〕 生活困窮者自立支援対策事業費	4,323千円 （うち特定財源） 3,230千円	・生活困窮者自立支援法に基づく住居確保給付金の支給 ・自立相談支援に携わる福祉拠点職員への研修実施	・住居確保給付金 延 95件→延 31件【延 30件】 （うち就職者 3人→ 4人）【 4人】 ・業務研修 22回→ 14回【 8回】 ・参加者数 延496人→延331人【延300人】 ・業務検討会議開催数 120回→ 120回【 120回】	○住居確保給付金受給後の就職者数や業務検討会議開催数が一定程度確保されているほか，生活困窮者の自立支援対策として法に基づき実施する必要がある，一定の効果が期待できる。 ◆実施した研修が職員の資質向上につながっているかどうかや，研修テーマや内容の充実のため，受講者へのアンケートなどの実施により事業の成果を適切に測る必要がある。
10	〔保健福祉部〕 障害者等外出支援事業助成費	72,834千円 （うち特定財源） 26,600千円	・障害者等に対し，市電・函館バスの乗車料金の全額または半額を助成 （精神1級・2級は全額助成）	・利用登録者 5,938人→5,906人 ・利用実人員 2,999人→2,943人 ・利用率 50.5%→ 49.8%【53.0%】	○障がい者の外出を支援し，社会活動の促進に寄与する必要な事業である。 ◆未申請者が申請しない理由や利用登録者で利用していない理由等の分析が必要である。
11	〔保健福祉部〕 重度身体障害者等タクシー料金助成費	30,308千円 （うち特定財源） 0千円	・重度身体障がい者等の外出を支援するため，タクシー基本料金の一部を助成	・対象者 6,734人→6,557人 ・申請者 4,437人→4,320人 ・申請率 66%→ 66%【70.0%】	○重度身体障がい者等の外出を支援し，日常生活の利便性の向上に寄与する必要な事業である。 ◆未申請者が申請しない理由等の分析が必要である。
12	〔保健福祉部〕 函館市社会福祉協議会補助金	61,662千円 （うち特定財源） 0千円	・函館市社会福祉協議会の運営費および当該協議会が実施する地域福祉活動事業等に要する経費に対し，補助金を交付	・実施事業数 5件→ 5件【5件】 ・社会福祉協議会会員数 482件→ 502件【増加】 ・ボランティア登録数 244件→ 275件【増加】 ・地域福祉活動事業等参加者数 1,015人→1,243人【増加】	○成果指標である会員数などはいずれも増加しており，地域の実情に合った地域福祉活動の定着が見込まれ，一定の効果が期待できる。 ◆会員や参加者の地域福祉活動への意欲や，事業が具体的にどのような効果をもたらしているのかを把握するため，アンケート調査などの実施により事業の成果を適切に測る必要がある。
13	〔保健福祉部〕 軽費老人ホーム運営費補助金	143,729千円 （うち特定財源） 0千円	・無料または低額な料金で，食事の提供その他日常生活上必要な便宜を供与することを目的とする施設の運営に要する経費について補助金を交付	・施設数 5箇所→ 5箇所【5箇所】 ・入所者数〔定員205人〕 200人 →197人【 205人】	○入居者数が定員に対して高い割合となっており，高齢者が増加するなか，老人福祉法に基づき実施する必要があるため，一定の効果が期待できる。
14	〔保健福祉部〕 ひとり暮らし高齢者等緊急通報システム設置費	24,896千円 （うち特定財源） 10,000千円	・ひとり暮らし高齢者等に対し，緊急時に簡単な操作で外部に通報できる装置を貸与	・新規設置台数 157台→161台【158台】 ・通報件数 914件→779件	○緊急通報システムの設置は，日常生活における，ひとり暮らし高齢者等の不安の解消や安全の確保のために必要な事業である。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	R5決算額	所 管 部 局		所 見 等 ※所見は○、意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
15	〔保健福祉部〕 生活支援ハウス 運営事業費	27,738千円 (うち特定財源) 3,433千円	・家族による援助を受けられない、独立して生活することに不安がある非課税世帯の要介護でない高齢者に住居を提供するため、生活支援ハウスの運営を委託	・実施施設数 2施設→2施設【2施設】 ・入所者数〔定員21人〕 20人 →20人 【21人】	○定員数に近い人数が入居しており、居宅による生活に不安のある高齢者の住居確保のため必要な事業である。
16	〔保健福祉部〕 生活保護適正化 対策事業費	44,321千円 (うち特定財源) 86,673千円	・就労支援事業の実施 ・健診受診勧奨の実施 ・レセプト点検業務、年金等資産調査、不正受給対策等各種取組の実施 ・マイナンバーカード取得勧奨	・就労支援事業 対象者数 337人→347人【303人】 就労者数 187人→178人【155人】 ほか	○就労者数が一定程度確保されているなど、生活保護の適正な実施のために必要な事業である。
17	〔子ども未来部〕 療育支援事業費 補助金	8,680千円 (うち特定財源) 42千円	・保育所等に対し、特別な支援が必要な子どもに対応する保育士等の加配に必要な費用の一部を補助 ・制度の周知	・交付件数 7施設→4施設【6施設】 ・加配人数 9人 →8人 【6人】 ・対象児童 17人 →11人 【15人】	○対象児童入所施設において、必要な保育士の加配がなされており、保育の質向上に必要な事業である。
18	〔子ども未来部〕 母子家庭等 自立支援給付金 支給事業費	14,214千円 (うち特定財源) 10,659千円	・教育訓練講座等を受講した母子家庭の母等に対し、訓練給付金を支給 ・事業の周知	・交付件数 25件→19件【24件】 ・訓練講座修了者 13人→7人【11人】 ・修了時の就職率 77%→100%【100%】	○交付件数は減少したが、就職率は100%であり母子世帯等の就労状況の改善に一定の効果が期待できる。 ◆一定期間経過後に、未就職者が就職につながったかどうか追跡調査を行う効果検証が必要である。
19	〔経 済 部〕 国内販路開拓支援 事業費	11,931千円 (うち特定財源) 11,900千円	・市外の百貨店等における物産展の開催（委託） ・市外の百貨店における物産展の参加負担金およびスーパー等のフェアへ販促費の一部負担(負担金)	・物産展開催 39件→45件【45件】 ・上記物産展のうち負担金支出 28件→29件【29件】	○物産展の開催数等が増加しており、販路拡大につながる取り組みとして一定の効果が期待できる。 ◆社会経済情勢の変化などにより物産展の開催件数が減少することが予想されることから、新たな販路開拓の検討を進めるとともに、SNSを活用した発信など持続可能な事業の実施に努めていく必要がある。
20	〔経 済 部〕 小規模事業 経営近代化 促進指導補助金	29,000千円 (うち特定財源) 0千円	・商工会および商工会議所が行う経営改善普及事業に補助金を交付	・相談・指導業務 4,845回→4,554回【4,500回】 ・金融のあっせん 445回→484回【450回】 ・社会保険事務の代行 578回→569回【550回】	○相談・指導業務等が着実に実施され、事業者の経営改善や安定経営に資する一定の効果が期待できる。 ◆事業が具体的にどのような効果をもたらしているのか把握する必要がある。
21	〔経 済 部〕 公益財団法人 函館地域産業振興 財団研究開発等 事業補助金	102,681千円 (うち特定財源) 0千円	・公益財団法人函館地域産業振興財団が行う地域企業の技術高度化のための事業に要する経費について補助金を交付	・技術相談 630件→697件【650件】 ・試験・分析 148件→155件【150件】 ・技術研修 72件→49件【50件】	○技術相談等が着実に実施され、地域企業の技術高度化などに一定の効果が期待できる。 ◆事業が具体的にどのような効果をもたらしているのか把握する必要がある。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	R5決算額	所 管 部 局		所 見 等 ※所見は○、意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
22	〔観光部〕 観光宣伝印刷物等 作成経費	16,954千円 (うち特定財源) 16,900千円	・統一したコンセプトでの観光プロモーションツールの一括リニューアル (パンフレット、ポスター、動画)	・パンフレット配布部数 15万部→ 15万部【12万部】 ・ガイドマップ配布部数 15万部→ 15万部 ・ポスター使用枚数 2,000枚→1,000枚【600枚】 ・動画再生回数【4,000回】	◆パンフレット等のツールが活用され、効果につながっているのかを検証し、活用方法を検討すべきである。 ◆動画の再生回数が、観光ポータルサイト「はこぶら」のトップページPV数(約900万)と比較すると著しく少ないことから、周知方法等を見直すべきである。
23	〔観光部〕 函館国際観光 コンベンション協会補助金	34,400千円 (うち特定財源) 0千円	・函館国際観光コンベンション協会が実施する観光関連団体の観光プロモーション等の事業に要する経費について補助金を交付	・国内外プロモーション 12事業→15事業【15事業】 ・情報発信事業 8事業→6事業【6事業】 ・イベント・交流事業 7事業→5事業【5事業】 ほか	○各種事業が着実に実施され、観光・交流人口の拡大に一定の効果が あると考えられる。 ◆事業が具体的にどのような効果をもたらしているのか把握する必要がある。
24	〔観光部〕 観光案内業務委託料	27,077千円 (うち特定財源) 0千円	・観光客等に対して現地情報の提供など、 観光案内を実施(委託)	・来所者数 80,955人→90,763人 【99,000人】 ・観光動向調査における 観光案内所を訪れた 観光客の満足度 95.7%→未実施【96.0%】 【観光動向調査は隔年】	○来所者数は増加傾向であり、満足度も高い水準となっていることから、一定の効果が期待できる。 ◆観光入込客数の総数と比較すると来所者数は少ないことから、利用者層などの分析を行い、情報発信のあり方を検討する必要がある。
25	〔都市建設部〕 住宅リフォーム 補助金	6,760千円 (うち特定財源) 4,336千円	・バリアフリー改修・断熱改修・耐震改修 に要する工事費用の一部を補助	・環境負荷の軽減 ▶ 工事件数 63件→ 36件【49件】 【累計(R4-R8) 63件→ 99件【246件】】 ・発注総額 76,540千円→ 42,777千円【49,000千円】 【累計(R4-R8) 76,540千円→119,317千円 【266,317千円】】	○交付件数は減少したが、令和6年度より省エネ化に重点を置くこと としたことから、環境負荷の軽減などの事業効果を注視する必要がある。 ◆函館市住宅マスタープランのほか、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みであるため、環境に配慮した良質で安全な住宅ストックの形成などに繋がるような、成果指標の検討も必要と考える。
26	〔都市建設部〕 借上市営住宅関係 経費	282,542千円 (うち特定財源) 282,542千円	・市営住宅の必要な供給戸数を確保するために、民間事業者が建設した賃貸住宅を 借り上げる。	・借上市営住宅管理戸数 12棟 332戸 (R4・R5同数) 【R14: 6棟 202戸】	○「函館市公営住宅長寿命化計画(2023～2032)」に基づき、令和14 年度の目標管理戸数に向けて事業を進めていくこと。
27	〔教育委員会〕 外国語指導助手 関係経費	40,863千円 (うち特定財源) 0千円	・外国語授業の助手として学校へ外国語 指導者を派遣(委託) ・外国語指導助手の研修会を実施 (年4回委託) ・ICTを活用したALTとのオンライン交流	・派遣回数 小:557回→696回(各学級約年7回)【696回】 中:770回→791回(各学級約週1回)【791回】 高:1名常駐継続 ほか【1名常駐】 ・実施校の満足度 93%→97%【97%以上】	○実施校の満足度が高く、児童・生徒の外国語学習への意欲向上に一定の効果が期待できる。
28	〔教育委員会〕 戸井地域 通学バス管理運行 業務委託料	13,200千円 (うち特定財源) 0千円	・戸井地域の児童・生徒(園児)を対象に、 登下校(園)および学校教育事業、生涯学 習事業時に通学バスを運行 ・対象者への案内	・対象者・率 35人(100%)→48人(100%)【100%】 ・登下校運行 1,704回→1,695回【1～3回/日】 ・その他の運行 239回→ 136回【随時】	○すべての対象児童・生徒に利用されており、遠距離通学の安全確保 や負担軽減に一定の効果が期待できる。 ◆運行ルートや時間など利用者のニーズを満たしているか把握し、対象者数にあった規模の安定的な運行を継続すべきである。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	R5決算額	所 管 部 局		所 見 等 ※所見は○，意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
29	〔教育委員会〕 恵山地域 通学バス管理運行 業務委託料	15,708千円 (うち特定財源) 0千円	・恵山地域の児童・生徒を対象に，登下校 および学校教育事業，生涯学習事業時に 通学バスを運行 ・対象者への案内	・対象者・率 48人(100%)→53人(100%) 【100%】 ・登下校運行 1,248回→1,146回 【1～3回/日】 ・その他の運行 29回→ 23回 【随時】	○すべての対象児童・生徒に利用されており，遠距離通学の安全確保 や負担軽減に一定の効果が期待できる。 ◆運行ルートや時間など利用者のニーズを満たしているか把握し，対 象者数にあった規模の安定的な運行を継続すべきである。
30	〔教育委員会〕 南茅部地域 通学バス管理運行 業務委託料	53,042千円 (うち特定財源) 0千円	・南茅部地域の児童・生徒を対象に，登下 校および学校教育事業時に通学バスを運 行 ・対象者への案内	・対象者・率 73人(99%)→101人(99%) 【100%】 ・登下校運行 1,189回→1,996回 【1～4回/日】 ・その他の運行 22回→ 25回 【随時】	○ほぼすべての対象児童・生徒に利用されており，遠距離通学の安全 確保や負担軽減に一定の効果が期待できる。 ◆運行ルートや時間など利用者のニーズを満たしているか把握し，対 象者数にあった規模の安定的な運行を継続すべきである。
31	〔教育委員会〕 市立函館高等学校 海外留学事業等 関係経費	16,441千円 (うち特定財源) 16,441千円	・市立函館高等学校の生徒10名程度をオー ストラリアの公立高校に派遣（委託）ほ か ・留学生徒数：9名派遣（2年次生）	・英語能力判定テスト 未実施→10%向上 【10%以上】 ・体験報告書 未実施→9件 【10件】	○事業実施前後の英語能力判定テストでの得点向上や，体験報告書か ら参加者の成長がみられ，一定の効果が期待できる。
32	〔教育委員会〕 重要文化財遺愛学 院(旧遺愛女学校) 本館等保存修理 事業費補助金	151,223千円 (うち特定財源) 100,000千円	・重要文化財遺愛学院（旧遺愛女学院）本 館等保存修理工事に対する支援(補助金)	・工事進捗率 55.9%→85.5% 【R6：100%】	○保存修理工事が計画どおり実施されており，文化財の保護・保存に 一定の効果が期待できる。
33	〔教育委員会〕 重要文化財大谷派 本願寺函館別院 保存修理事業費 補助金	13,500千円 (うち特定財源) 9,000千円	・重要文化財大谷派本願寺函館別院保存修 理工事に対する支援（補助金）	・工事進捗率 0.7%→3.1% 【R11：100%】	○保存修理工事が概ね計画どおり実施されており，文化財の保護・保 存に一定の効果が期待できる。
34	〔教育委員会〕 函館マラソン大会 開催負担金	40,000千円 (うち特定財源) 0千円	・実行委員会に参画し，函館マラソンの開 催に係る事業費の一部について負担金を 交付	・参加申込者 7,028人→7,991人 【8,000人】 （出走者数 4,809人→7,017人） ・大会満足度 ▶ フル 85.8点→88.8点 【90点以上】 ▶ ハーフ 87.1点→84.6点 【90点以上】	○参加者数は増加し，参加者満足度も高いことから，一定の効果が期 待できる。
35	〔教育委員会〕 函館市スポーツ 協会運営補助金	11,970千円 (うち特定財源) 0千円	・スポーツ振興事業を実施する函館市スポ ーツ協会の運営を支援するため補助金を 交付	・加盟団体数 34団体→33団体 【 32団体】 ▶ 親子スポーツ体験参加者 103人→76人 【100人】 ▶ 特別支援事業参加者 199人→200人 【200人】 ▶ スポーツ振興事業 20件→22件 【 22件】 ▶ 指導者育成・競技力向上事業 28件→33件 【 33件】	○各種事業を継続的に実施しており，スポーツ振興などに一定の効果が 期待できる。 ◆事業実施が具体的にどのような効果をもたらしたのかや，スポーツ 振興に対する市民ニーズの把握により，事業成果を適切に測定し， 事業内容を検証すべきである。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価2 有効性・必要性がやや高い

No.	事業名	R5決算額	所管部局		所見等 ※所見は○，意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
36	[教育委員会] 函館市学校給食会 補助金	17,581千円 (うち特定財源) 0千円	・学校給食物資の共同調達などを行う函館市学校給食会へ運営補助金を交付 ・学校給食用物資の共同調達 ・納入業者向け衛生管理研修会の実施	・小学校給食回数 182～185回→182～185回【182～185回】 ・中学校給食回数 178～186回→178～186回【178～186回】 ・地場産品等 新規食材の取扱 89件→32件【35件】	○既定の給食回数に対する副食用食材の調達を安定的かつ確実に行うほか，継続的に新規食材を増やす取り組みを実施し，安全・安心な学校給食の提供に貢献している。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価3 有効性・必要性がやや低い

No.	事業名	R5決算額	所管部局		所見等 ※所見は○、意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
1	〔市民部〕 その他諸経費 （国保ヘルスアップ事業所要経費） 〔国保特会〕	15,547千円 (うち特定財源) 8,428千円	・特定健診未受診者や糖尿病等の治療中断者に対し、行動変容を促す勧奨通知を送付 ・勧奨通知の文面を見直し	・受診率 32.7%→32.7%【35.8%】 ・治療再開率 8.1%→8.7%【9.0%】	◆受診率や治療再開率がともに低調であるため、その原因について分析し、効果が高い年代への重点化や、他都市の事例（携帯電話へのショートメッセージ勧奨等）を参考に、紙媒体以外の効率的な勧奨方法などの検討が必要である。
2	〔保健福祉部〕 就労準備支援業務委託料（債務負担行為分）	10,550千円 (うち特定財源) 7,023千円	・就労に向けた準備のための支援を必要とする生活保護受給者等に対し、就労準備支援を実施（委託）	・参加登録者数 24名→23名【45名】 （定員45名に対する充足率 53%→51%【100%】） ・就労体験参加 8名→6名 ・就職決定 1名→1名	◆参加登録者数の定員に対する充足率が約50%と低くなっているほか、就職決定者数も少ないことから、その原因について分析し、事業内容等の見直しの検討が必要である。
3	〔環境部〕 生活排水対策費	6,920千円 (うち特定財源) 2,186千円	・合併処理浄化槽の設置費の一部補助 ・単独処理浄化槽の撤去費の補助 ・単独処理浄化槽撤去に伴う宅内配管工事費用の補助 ・各種広報（市政はこだて、市HP、本庁舎等にチラシ設置）	・交付件数 ▶ 合併処理浄化槽設置費 33基→15基【15基】 〔累計(R5-R8) 0基→15基【96基】〕 ▶ 単独処理浄化槽撤去費 0基→0基 ▶ 宅内配管工事費 0基→0基	◆合併処理浄化槽設置費の交付件数が減少していることや、単独処理浄化槽撤去費および宅内配管工事費の交付実績がないことから、その原因について分析し、事業費の縮小や事業内容の見直しなどの検討が必要である。
4	〔環境部〕 資源回収促進費	33,483千円 (うち特定財源) 0千円	・自主的な集団資源回収実施団体に資源回収推進奨励金を支給 ・回収業者に資源回収推進謝礼金を支給 ・公共施設等へ回収ボックスを設置し、小型家電回収	・集団資源回収量 6,376,429kg→5,844,508kg 【R6：6,165,671kg】 ・小型家電回収量 80,360kg→75,860kg 【R6：29,000kg】 ほか	◆回収量減少に合わせて事業費の縮小を検討するほか、分別収集等について周知徹底等、より効果的な意識啓発が必要である。
5	〔環境部〕 使用済み乾電池処理費	13,393千円 (うち特定財源) 0千円	・町会館、学校、公共施設等に設置した回収箱から使用済み乾電池を回収 ・処理施設へ運搬および処分（委託）	・回収箱設置箇所数 245か所→245か所 ・使用済み乾電池処理量 130t→約116t【60t】	◆回収量減少に合わせて事業費の縮小を検討するほか、回収ボックスの設置箇所や収集体制の見直しの検討が必要である。

令和6年度（2024年度）事業評価結果一覧表

評価4 有効性・必要性が低い

No.	事業名	R5決算額	所管部局		所見等 ※所見は○，意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
1	〔港湾空港部〕 函館空港 国際航空便 再開補助金	5,000千円 (うち特定財源) 5,000千円	・新型コロナウイルス感染症の影響により 函館空港への国際航空便を運休している 航空会社を対象に，補助制度を案内 ・対象2社中1社の申請に対し補助金を交付した	・再開した航空会社 1件 ・定期便の内容（週5便，11か月継続） ※R5新規事業	○本補助金と「函館空港国際航空便就航補助金」を統合し，見直しを実施した。

評価5 効果が測定できていないため，有効性・必要性の判断ができない

No.	事業名	R5決算額	所管部局		所見等 ※所見は○，意見・指摘は◆で記載
			R5取組内容	成果(R4→R5) ※【】は最終目標を示す	
1	〔観光部〕 函館港まつり 開催負担金	26,000千円 (うち特定財源) 26,000千円	・函館の夏を代表するイベント「函館港まつり」の開催に係る負担金を支出	・イベントの復活→通常開催の実施 ・パレード参加 20団体 1,435人（十字街・松風） →80団体 12,168人（十字街・松風・五稜郭） 【145団体 22,300人】	◆事業の成果を測るためには，沿道の観客数や参加者数の把握のほか，満足度調査などを実施し，事業を検証することが必要である。
2	〔観光部〕 はこだてクリスマスファンタジー 開催負担金	23,100千円 (うち特定財源) 23,100千円	・イルミネーションを施したクリスマスツリーの点灯式や花火の打ち上げ，スーパバーなどを展開するクリスマスファンタジーの開催に係る負担金を支出	・通常開催 再開→継続実施 ・スーパバー売上 14,582千円→19,262千円 ・イベント訪問者数（推計）【上昇(対R6)】 ※訪問者数調査未実施（R6実施予定）	◆事業の成果を測るためには，イベント訪問者数の把握のほか，満足度調査などを実施し，事業を検証することが必要である。
3	〔観光部〕 湯の川冬の灯り 開催負担金	15,400千円 (うち特定財源) 15,400千円	・湯の川温泉街でのイルミネーション・ライトアップイベント「湯の川冬の灯り」の開催に係る負担金を支出	・イルミネーションの整備(R6までエリア拡大) ・満足度【上昇(対R7)】 ※満足度アンケート未実施(R6実施予定)	◆事業の成果を測るためには，イベントの満足度調査などを実施し，事業を検証することが必要である。